

寒天＋アルギン酸連合印象のコツ

寒天印象材の寸法精度を利用して寒天＋アルギン酸連合印象の精度を保証することは、その相対的なボリュームからすると実は不可能である（使用する寒天の量に対してアルジネートの量が非常に多いため）。よって、寒天＋アルギン酸連合印象の精度は、アルジネートの寸法精度に左右されていることが判断できる。

では、なぜ寒天印象材を使用するのかというと、寒天印象材は、親水性である口腔内の歯牙や粘膜に対して低い接触角度を持つため馴染みが良いこと、また、高い流動性を持つために細部まで流れ、歯牙の表面を流れるように移動することが可能であるという特徴を持っているからである。これらの特徴によりアルジネート単身で使用するときに発生する、歯牙とアルジネートの境界で発生して変形に結びつく摩擦を回避することができる。

寒天＋アルギン酸連合印象の精度を確保するために、以下の点に注意が必要である。

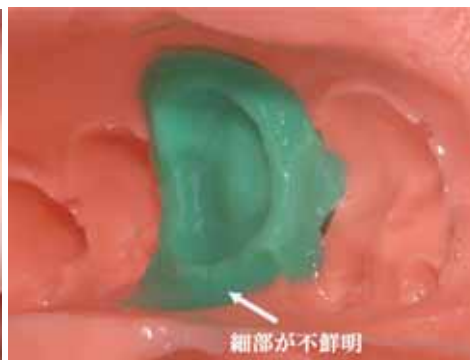
まず、適正混水比でアルジネート印象材を練和すること（アルジネート印象材に気泡が入らないようにするために自動練和器で行うとさらに良い）。

さらに、唾液のような、稠度の高いものは印象圧により排除できないために、スリーウェイシリンジなどにより水洗した後に軽くエアブローすること（印象材が親水性であるために過度に乾燥する必要はない）。

そして、印象部分はもとより、出来るならば歯牙全体に寒天が回るようにすること。寒天によりウォッシュアウトされるように素早くアルジネート印象材を挿入することも重要である。



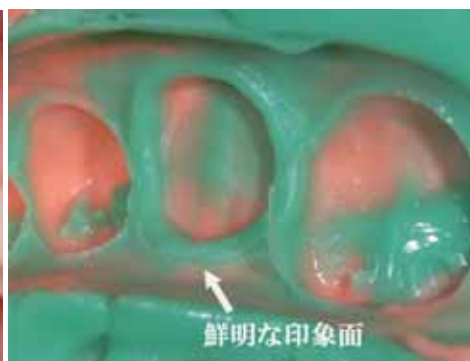
唾液の貯留が見られる歯面



細部が不鮮明な印象面



適切な湿潤の歯面



適切な印象面